

記入例：事例5（業務外で感染経路特定）

様式5

新型コロナウイルス感染症の業務起因性の判断のための調査復命書

〇〇局〇〇署										整理番号	
署 長		副 署 長		課 長		給 調 官		係 長		係	復命年月日 令和 年 月 日
署長判決・指示事項								調 査 官	厚生労働事務官		
1. 調査官意見のとおり決定する。 2. 下記事由により再調査を要する。								調 査 期 間	自 令和2年9月7日 至 令和 年 月 日		
								受付年月日	令和2年9月7日		
								請 求 種 別	☒ 療養 ☒ 休業 ☐ 遺族 ☐ 葬祭 ☐ 障害 その他（ ）		
事 業 場	労働保険番号	99. 1. 99. 100000-000									
	名 称	認対ジュエリー（有）						代表者名 代表取締役 認対 四郎			
	所 在 地	〒000-0000 〇〇区〇〇台1-1-1						Tel01-1111-2222			
	業 種	服飾品仕入れ販売（9801）						労働者数	40名		
被 災 労 働 者	ふりがな 氏 名	ほしょう ふたこ 補償 二子（男・ ☒ 女）						生年月日	昭和・ ☒ 平成 5年6月30日（27歳）		
	住 所	〒000-0001 〇〇区〇〇町2-2-2						Tel080-8888-9999			
	職 種	☒ 常用・日雇						職 名	販売		
	雇入年月日	昭和・平成・ ☒ 令和 2年4月1日									
ふ り が な 請 求 人	ほしょう ふたこ 補償 二子（続柄 本人）										
病 状	発症時期	令和2年7月14日 午前・午後 時 分（頃）（発症時年齢27歳）									
	現在の状況	☒ 生存・死亡（死亡年月日 令和 年 月 日（死亡時年齢 歳）									
請 求 人 の 申 述	服飾品販売の対面接客業務により不特定多数の客と接触したことから、新型コロナウイルス感染症を発症したとして、療養補償給付、休業補償給付に及んだものである。										
事 案 の 概 要	請求人は、百貨店内テナント店舗で服飾品の販売員として勤務し、対面での接客業務を行っていたところ、令和2年7月14日より発熱等の症状が出現し、16日に〇〇クリニックを受診、その後、22日にPCR検査施行、23日に陽性と判明し、24日より〇〇病院に入院した。										

1 総合判断

総合判断	[調査官の意見] 本件は、[業務上 ・ <u>業務外</u>] と考える。 調査の結果下記のとおり、業務外で感染したと推定されることから、労働基準法施行規則別表第1の2第6号の5における疾病に 該当する・<u>該当しない</u> ものと判断する。 1 PCR検査結果（検査結果確認先：〇〇クリニック、〇〇区保健所） ☒ 陽性 ☐ 陰性 2 感染経路の特定（推定） ☒ 有 （☐ 国内 ☐ 国外、国名： ） （☐ 業務内での感染、☒ 業務外での感染） 特定（推定）した機関名：〇〇区保健所 ☐ 無（不明） 3 請求就労状況の該当事由 (1) ☐ 医療従事者等（ の業務） (2) ☐ 医療従事者等以外の労働者であって感染経路が特定されたもの (3) ☐ 医療従事者等以外の労働者であって感染経路が特定されていないもの ① ☐ 複数（請求人を含む）の感染者が確認された労働環境下での業務 ② ☐ 顧客等との近接や接触の機会が多い労働環境下での業務 (4) ☐ 海外出張労働者（出張先国名： ） (5) ☐ 海外派遣特別加入者*上記（1）から（3）の該当項目も必要 4 感染経路不明の場合の推認事項（特定の場合は感染経路） ☐ 労働環境下での感染 （根拠：請求人は、服飾品の販売員として1日約10人程度を接客していた。接客時はマスクを着用し、来店者は入り口で手指消毒をしていた。また、同時期に請求人が就労していた店舗がある百貨店内で、他に3名の感染者が確認されているが、請求人とはフロアが別であり、その感染者との接触は認められない。） ☒ 一般生活での感染 （根拠：請求人の申述から、発症4日前に、感染が確認された友人と二人で21時から約2時間、居酒屋で会食し、二人の距離は若干近く密であったことが確認された。また、保健所は友人との会食が感染源であったと推定している。 以上により、一般生活において感染源が推定され、業務により感染した蓋然性高い労働環境下にあったとは認められない。）
------	--

	5 地方労災医員等専門医意見 ☐ 該当無 ☒ 該当有（意見要旨：一般生活による感染が推定され、業務により感染した蓋然性高い労働環境下にあったとは認められない。）
--	---

2 出現した症状等について

		資料 No
症状出現時期	令和2年7月14日	
症状の内容	令和2年7月14日より発熱、咳、倦怠感、息苦しさが生じ、16日に〇〇クリニック受診。18日と19日は出勤するものの、発熱継続したことから20日に〇〇クリニック再度受診。その後、22日にPCR検査施行、23日に陽性と判明し、24日より〇〇病院に入院。	
感染原因について	PCR検査陽性の友人と令和2年7月10日に会食し感染したもの。	
既往症・既往歴	なし	
その他		

3 業務状況に関すること

		資料 No
業務内容	服飾品販売の対面接客業務	
職場環境	百貨店内テナント店舗での対面接客	
事業場内の感染経路特定状況	感染経路は特定出来ない。 売場周辺、客からの感染報告はない。 勤務先調査の結果において他の患者は発生していない。	
他の労働者・施設利用者等の感染状況	デパートの他のフロアの店舗で感染者がいたことが確認されるが、その感染者と接触はない。 デパートの感染者情報 7月11～15日までに4名 1階：請求人、2、4階：3名	
業務内の感染（疑い）者との接触状況	不明	
業務における人との接触状況	接客時、客との距離は保っており、都度マスク着用。 客には入り口で手指の消毒をお願いしている。 多い日で一日当たり約10人、一週間で50～70人を接客する。	
流行地域への渡航又は出張の状況、出張先地域での感染状況	なし	
業務に関する発症前14日間の行動歴 *様式1「使用者報告書」等より出勤時のみの状況を記載	日勤業務（9:30-19:00又は11:00-20:00）に従事している。 以下のとおり対面接客業務に従事した。 発症3日前（7/11）通常業務 発症4日前（7/10）通常業務 健康診断 発症5日前（7/9）通常業務 発症6日前（7/8）通常業務 発症9日前（7/5）通常業務 発症10日前（7/4）通常業務 発症11日前（7/3）通常業務	
その他の状況		

4 一般生活状況に関すること

		資料 No
家族中の感染者の状況	なし	
一般生活上の感染者との接触状況	PCR 検査陽性の友人と令和 2 年 7 月 10 日に飲酒を伴う会食。 当該友人は 7 月 11 日に味覚障害、発熱の症状が出現し、同日に医療機関に受診し、翌日 PCR 検査の結果陽性となった。	
一般生活における人との接触状況	友人と会食	
海外渡航歴又は流行地域への移動状況、移動先地域での感染状況	なし	
一般生活に関する発症前 14 日間の行動歴 *様式 2「申立書」等より出勤時以外の状況を記載	発症 2 日前 (7/12) 自宅 発症 4 日前 (7/10) PCR 検査で陽性となった友人と向かい合わせで夜 9 時から 2 時間くらい飲酒を伴う食事 (若干距離が近く密であったと思う。)	
その他の状況		

5 主治医・専門医意見

		資料 No
主治医の意見書	〇〇クリニック主治医意見書 1. 受診の端緒及び初診日について 発熱、咳のため 令和2年7月16日 2. 自覚症状及び自覚症状の出現日について 咳 令和2年7月14日 3. 受診時における他覚所見について 7/16 体温 36.6℃ SAT98% 咽頭発赤なし 頸部リンパ節腫脹なし 呼吸音異常なし 7/20 体温 37.2 SAT98% その他同上 4. 疾患名及びPCR 検査等の検査成績などその診断根拠について 【疾患名、検査成績、診断根拠】 新型コロナウイルス感染症 急性気管支炎 7/16 胸部レントゲン異常なし 血液検査で白血球、CRP 異常なしのため 通常の気管支炎と診断し、抗生物質にて加療した。 【PCR 検査結果】 令和2年7月22日 陽性 【画像診断、血液検査等実施日】 XP 画像撮影確認日 令和2年7月16日 血液検査実施日 令和2年7月16日 5. 治療経過及び治療内容、現在の症状について 7/16 細菌性の気管支炎を疑い抗生物質の投薬治療をしたが、発熱改善 せず 7/20 PCR が必要と判断した。7/20 受診が当院では最後のため現状 は不明。 6. 本疾患に影響を与えた基礎疾患について なし 7. その他参考となる事項について コロナ流行地域渡航歴なし、濃厚接触歴なし、味覚嗅覚障害なし 診療記録等の収集 ☒ 有 ・ 無 〇〇病院主治医意見書	

	1. 受診の端緒及び初診日について 7/24 (〇〇区保健所からの入院依頼) 2. 自覚症状及び自覚症状の出現日について 7/13～ 3. 受診時における他覚所見について 症状なし 4. 疾患名及びPCR 検査等の検査成績などその診断根拠について 【疾患名、検査成績、診断根拠】 他院でPCR 施行し陽性⇒入院勧告へ 【PCR 検査結果】 当院では未施行 【画像診断、血液検査等実施日】 CT 画像撮影確認日 令和2年7月24日 血液検査実施日 令和2年7月25日 5. 治療経過及び治療内容、現在の症状について 入院時症状はごく軽度の頭痛のみであり、経過観察とした。 発症10日および症状消失72h以降となった7月29日に退院となった。 以後通院なし 6. 本疾患に影響を与えた基礎疾患について なし 診療記録等の収集 (有) ・ 無) 診療録に「7/10 友人と会食をし、その後友人はPCR 陽性となった。」 と記載が確認される。	
専門医の意見書	新型コロナウイルス感染症の潜伏期間である発症前14日間において、 発症4日前に本感染症の陽性者と会食をしており、一般生活による感染 が推定され、業務により感染した蓋然性高い労働環境下にあったとは認 められない。	

6 保健所、検査機関等からの報告内容

		資料 No
保健所からの 回答	【〇〇区保健所】 1. 新型コロナウイルス感染症にかかったことを確認した検査の実施日 令和2年7月22日 2. 感染源が特定（推定）されているか はい 新型コロナウイルス感染症の発症前に、陽性者の友人と会食をしていたと、行動調査結果で把握されている。 3. 特定（推定）されている場合、勤務先における感染（同僚、顧客、患者、施設利用者、取引先等からの感染又は勤務での出張中の感染）と特定（推定）されているか いいえ 勤務先調査の結果において他の患者は発生していないと把握している また、発症前に会食をした陽性者とは友人関係と調査により把握している。	
その他検査機 関からの回答		

7 その他の事項

資料 No
